

湖南高校だより

湖南学信
福立高等学校

発行責任者
校長
安倍真一郎

学校スローガン 「可能性の発見、自分に挑戦、夢を形に」

4月25日(土) PTA進路講演会 「逆境の時は実はチャンス」

株式会社 丸福織物 社長 齋藤 義博 氏

4月28日(火) 湖南高校SBP講演会 「君たちの可能性は無限大」

百五銀行まちの宝創造アドバイザー 岸川 政之 氏

開催される



株式会社 丸福織物 社長 齋藤 義博 氏

四月二十五日(土) 例年通り、一・二校時、授業参観、三校時、PTA進路講演会、午後、総会、学級・学年懇談等の日程でPTA総会が行われ、今回のPTA進路講演会は、福島市松川町の(株)丸福織物の社長、齋藤義博氏をお招きし、「逆境の時は実はチャンス」というテーマで生徒・保護者・教職員の約百五十名が参加し、齋藤氏のお話を傾けました。

自身が高校三年生とときに親が他人のために背負った借金のために大学進学を諦めたこと。群馬

県の会社に就職をし、日々の生活の中で考え、悩み、学んだこと。とにかく「真剣だった」と回想されていました。「いい加減だ」と言い訳が出る。中途半端だと愚痴が出る。真剣にやれば知恵が出る。「という言葉を引用し、前向きに努力することの大切さをお話になりました。最後に、これからの若者に向けて、人や自然を含め、周りのもの大切にする心、何事も一生懸命に行う心、今はできなくても諦めないで努力する心が大事だと締めくくられました。

四月二十八日(火) 復興庁、郡山市、本校の共催で、湖南高校SBP(ソーシャル・ビジネス・プロジェクト)講演会が、生徒・保護者・同窓会等学校関係者・教職員の約百六十名が参加し、実施されました。

講師の岸川政之氏は、この三月まで三重県にある多気町の職員として、地域の活性化に携わり、現在は百五銀行で「まちの宝創造アドバイザー」として、地域のために全国を飛び回り、また、皇学館大学で、学生に講義を行っている方です。平



百五銀行まちの宝創造アドバイザー 岸川 政之 氏

成二十三年(二〇一一年)にテレビドラマ化され、日本テレビで放映された三重県立相可高校の「高校生レストラン」『まの店』の仕掛け人でもあり、その他、高校生と協力した商品開発を行ったりするなどの活動をしているそうです。

今回の講演会では「君たちの可能性は無限大」というテーマでお話されました。色々な未来があるし、未来は変えられる。変えるためには行動を起こすことが必要であると、熱い思いが込められた言葉で、生徒たちも

自分たちができることは何なのかなど、真剣に考える様子が見られました。

講演会後、本校視聴覚室で第一部として、同窓会等学校関係者・教職員の約三〇名を対象に「未来の大人たちを育てる」というテーマでお話をされました。また機会を作り訪問したいとのことでした。

生徒の感想

今回の講演を聞いて、とても心が打たれました。初めは「可能性」と言われてもあまりピンとこなかったのですが、映像を見た時に驚きました。自分と同じ高校生がプロ顔負けの料理を作ってお客さんに提供している姿を見て、自分と比較しました。比較して、私はとても不安になってしまいました。自分は今、いったい何に真剣に取り組んでいるのだろうか。さらに自分に「可能性はあるのだろうか。しかし、岸川さんの話を聞いていくうちに、だんだんやる気がでてきました。今からでも「可能性」が見つけれられると思っただけです。高校生が料理だけでなく、ハンドクリームなどを作っていることなど

いろいろなことに挑戦しているのを聞いて、「今からできることからやろう」と強く思うことができました。勇気づけられました。(二年A組のある生徒)

リレイトメッセージ

先日、新聞でとある記事を読みました。成績が伸びない学生には共通して生活習慣に問題が三つあることがわかったそうです。その三つの生活習慣を整えると学力が上がるという結果がでたのだそうです。

その三つとは「挨拶」「時間を守る」「整理整頓」です。その中でも、特に重要なのが「時間を守る」なのだそうです。毎日の生活の中で、一分二分ではあるけれど必ず遅刻する生徒がいます。定期試験や入試などの大切な日は遅刻しないが、日常生活では少し遅刻す

とすることは「心の怠惰」を表しているそうです。この状態が続くと、試験前の勉強だけで済まされ、計画的に勉強することは出来ません。そしてテストの点数は伸びないという結果を招くのです。また、友達との約束では「いつも遅刻するやつ」と思われるくらいで、それほど大きな問題になりませんが、社会人であれば、まずこのような人は信用されず、仕事は任

されません。大きな失敗をして、そこで初めて規則正しい生活習慣の大切さを学ぶのも良いかもしれません。しかし、社会にでるための準備として高校で学んでいるのですから、高校三年間で身につけて社会にでていってみてはどうでしょう。きっと損はないはずです。(阿久澤達朗・あくざわたつろう・英語・二年A組担任・二年生主任)

《克己心》

あの雪がウンだったかのようになんかやと改めて思う次第です。五月になりました。三年生は進路実現に向けた取り組みが始まりました。また、十九日より三日間の中間考査。二十二日の遠足。さらに、部活動では、上旬にインハイの地区大会、下旬には県大会が予定されています。文武両道を心がけ、今しかできないこの高校生活を楽しんでください。